

大阪湾漁場環境速報

平成23年2月5日発行
兵庫のり研究所

神戸港周辺～湾奥部では、スケルトネマ、タラシオシラ等の珪藻が大量に増殖しています。同海域では、河川水等の流入により窒素は高い値を示していますが、リンは珪藻の消費により低い値を示しています。その他の海域では、これらの珪藻は認められませんが、レプトシリンドラスやギナルディア等が認められ、窒素は $1\mu\text{g-at/L}$ 前後～ $2\mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。1か月予報（気象庁 2/4発表）によると、向こう1か月、気温は平年より高い傾向で推移し、降水量は平年並か平年より多い予想となっています。今後も、珪藻（スケルトネマ他）、栄養塩動向に十分注意して下さい。

(水温) 表層は湾内6～9℃台で、平均7.9℃。昨年(9.2)比1.3℃、平年(8.9)比1.0℃それぞれ低い。-10m層は平均8.1℃(平年9.4)。

(塩分) 表層平均31.68psu(平年 31.81)。-10m層平均32.42psu(平年 32.37)。

(栄養塩、他) 表層の窒素は平均 $6.3\mu\text{g-at/L}$ 、リンは平均 $0.26\mu\text{g-at/L}$ 。窒素、リンとも平年(8.6, 0.35)より低い。-10m層(平均)は、窒素 $2.1\mu\text{g-at/L}$ 、リン $0.29\mu\text{g-at/L}$ 。河川水等の影響で表層塩分が低い神戸港周辺～湾奥部を中心にスケルトネマ、タラシオシラが大量に増殖しており、一部で赤潮を形成している。その他の海域では、レプトシリンドラスやギナルディア、シュードニッチア等、播磨灘と珪藻の発生状況が似ていた。また、コシノディスカスおよびユーカンピアが湾全域で散見された。夜光虫による弱い赤潮が神戸沖で確認された。透明度は赤潮域で3.0～5.0m、その他は4.0～10.5mで平均7.0m。pHは表層平均8.26(赤潮域では8.5以上)。

上段 (今回値)	平成23年2月4日調査
中段 (昨年値)	平成22年2月12日調査
下段 (平年値)	

調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 ($\mu\text{g-at/L}$)	リン ($\mu\text{g-at/L}$)
04	9.3	32.77	2.6	0.37
	9.5	32.52	5.7	0.54
	10.3	32.76	6.3	0.46
05	7.9	31.95	3.3	0.18
	8.7	32.31	4.2	0.37
	9.2	32.07	6.3	0.36
06	7.8	32.54	1.0	0.29
	8.4	30.59	9.6	0.10
	8.9	31.90	8.5	0.38
07	8.1	32.52	1.1	0.28
	9.0	32.34	5.2	0.50
	9.2	32.13	5.6	0.33
08	9.7	32.79	2.4	0.40
	9.1	32.41	4.9	0.48
	10.1	32.54	5.7	0.42
09	9.2	32.75	2.0	0.38
	9.8	32.63	5.9	0.54
	10.0	32.56	5.8	0.44
010	7.8	32.36	0.6	0.22
	8.7	32.10	3.6	0.25
	8.9	31.99	5.3	0.25
012	7.4	32.12	0.9	0.18
	8.7	31.07	13.5	0.45
	8.7	31.42	9.8	0.27
013D	6.8	30.20	17.0	0.08
	8.6	30.05	16.1	0.29
	8.2	30.68	17.9	0.33
016	6.6	28.43	23.6	0.09
	8.7	29.41	13.5	0.10
	8.3	29.91	19.0	0.32
017D	7.2	28.46	27.0	0.21
	8.7	30.28	13.6	0.14
	8.4	29.93	34.9	0.53
018	7.2	28.66	35.0	0.11
	8.7	30.19	13.9	0.13
	8.3	27.50	52.6	1.22
S1	6.0	29.13	24.2	0.36
	8.5	30.41	10.0	0.11
	8.6	31.39	10.7	0.31
S2	7.0	29.44	18.6	0.08
	8.6	30.54	9.5	0.11
	8.3	30.72	14.0	0.27
S3	8.0	32.54	0.9	0.29
	8.6	31.12	10.1	0.24
	9.0	31.45	9.5	0.31
S4	8.2	32.47	0.7	0.23
	9.9	32.64	5.9	0.55
	10.0	32.64	5.7	0.42



